



# だいの風

日高市立武蔵台小中学校  
令和6年7月8日 第7号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



## 「学校課題研究 自己効力感を育む」

秋馬 信之

人間の能力を捉える概念のひとつに「認知能力」と「非認知能力」があります。「認知能力」は、いわゆる学力であり、テストの点数など数字で表すことができる能力を指します。一方、「非認知能力」とは、数値化して表すことが難しい能力で「自制心」「勤勉性」などを指し、埼玉県では先行研究から学力と相関がみられる「自己効力感」「自制心」「勤勉性」「やり抜く力」「向社会性」の5つの非認知能力を質問調査で数値化しています。そして非認知能力の中でも特に「自己効力感」と「学力」には、正の相関関係があることが埼玉県学力・学習状況調査の結果からも明らかになっています。

さて自己効力感とはなんのでしょうか。自己効力感とは、「自分はそれができる」という期待や自信のことをいいます。下図は、県の教育委員会が作成したものです。この図は、「主体的・対話的で深い学び」の実施に加えて「学級経営」が、子どもの「非認知能力」「学習方略」を向上させ、子どもの学力向上につながることを表したものです。



【埼玉県学力・学習状況調査】のデータ活用事業より

教師の本分は授業です。本校では、この原点に立ち返り、子どもたちの自己効力感を高めるために、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」をテーマに、今年度から令和8年度までの3年間の学校課題研究を行うこととしました。第1回の6月24日(月)に実施した研修会では、県教育局市町村支援部義務教育指導課の柿沼 宏充先生を招聘し、講義と演習を行いました。研修時間は90分でしたが、講義においては「子どもたちの思考を引き出す授業をデザインしていくことが大切である」という先生の言葉が印象に残りました。また、演習においては埼玉県学力・学習状況調査の分析を行いました。先生方が子どもの姿を思い浮かべながら、「なぜ、この子はこのような結果になるのだろうか」「なぜ、この数値のギャップが生まれるのだろうか」等、「なぜ、なぜ」と問いを持ちながら、子どもたちを主語にしながら議論をしている姿が印象的でした。さすが、本校の先生方です。



本校は義務教育学校として、子どもたちの学力を9年間の学びの連続性の中で育むために、自己効力感に着目し研究を進めていきます。定期的に、教職員の研修の様子や子どもたちの数値の変化等を学校ホームページや学校便りを通じてお伝えてしていきます。

6月22日(土) 日高市内学校硬筆展覧会 武蔵台公民館で開催

1年 銅賞 銅賞 銅賞	4年 銅賞 銅賞 銅賞	6年 銅賞 銀賞 銀賞	9年 銅賞 銅賞 銅賞
2年 銀賞 銀賞 金賞	5年 銅賞 銀賞 銅賞 特選 銅賞 銅賞	7年 銅賞 特選 銅賞	
3年 銀賞 銅賞 銅賞		8年 銀賞 特選 金賞	



6月27日(木) 3年生 フレンドリースクール(防犯教室)

3年生を対象に、飯能警察署生活安全課の方を講師にフレンドリースクール(防犯教室)を実施しました。子どもたちは「小学校3年生の子が万引きをしてしまい、保護者の方が涙を流しながら謝罪の様子を見て心から反省する」というDVDを視聴しました。その後、講師の方から「万引きは犯罪行為であり、絶対にしてはいけない」ということを指導していただきました。



6月29日(土) サッカー部地区大会 祝県大会出場

狭山市上赤坂公園で行われた県大会をかけて戦った地区代表決定戦。高麗川中との合同チームで臨んだサッカー部が見事、代表の座をつかみました。息をのむ素晴らしい戦いでした。ブラボー!



7月1日(月) 5年生ふるさと科 出前授業 醤油の秘密を学ぶ

醤油ものしり博士としてご活躍している浅利邦章様をお招きし、出前授業を行いました。子どもたちは、醤油の製造過程を通じて食べ物は生き物であることや発酵の仕組みなどを学ぶことができました。



7月2日(火) 児童生徒朝会 人権宣言の発表



- [7年]**一人一人の個性を尊重します 来年は前期課程も行います  
**[8年]**耳は二つ 口は一つ  
 ~みんなのために行動します~  
 ・相手そのものを否定せず尊重する ・意見をささげらない  
 ・話し合いを大切にする  
**[9年]**Freedom ~相手の自由を尊重する~  
 ・相手の良さを認める・人の意見を受け入れる  
 ・相手の気持ちを考える・人の話や意見を最後まで聞く